

請 願 文 書 表 (平成28年11月30日定例会提出)

請願第22号

横井東町山林への新斎苑建設計画の白紙撤回を求める請願書 (市民環境委員会付託)

平成28年11月22日受理

請 願 者	奈良市白毫寺町186番地 白毫寺町連合自治会 会長 巽 芳 博 外2名
紹介議員	今 西 正 延 土 田 敏 朗 森 田 一 成

要旨

横井東町山林への新斎苑建設計画の白紙撤回を求める。

理由

平成28年3月の奈良市議会3月定例会では、市長の再議を経たが新斎苑関連の予算が削除された新年度予算が最終的に確定した。しかし市長は議会の意思を無視し、計画推進のため独断で調査費として予備費を流用した上で第三者評価を実施した。

9月定例会に提案された新斎苑関連経費1800万円を含む補正予算案は、一部会派の賛成を得て辛くも可決させている。市長は3月定例会の決定に従わず、行政運営した責任は重大である。議会の一部会派の建設計画承認条件として突きつけられた地元住民の合意に着目して、本来行政が無条件で行うべき道路改修、公民館の整備、池の堤改修等を新斎苑建設計画容認の見返り条件として地域活性化対策案と称し、実施財源も担保できない事案を鹿野園町や横井東町に振りまいて、それぞれの住民の分断を図っている。その上にこそくな手段で計画推進に賛成する署名を集めたりしている。

町内を分断するこのようなやり方は将来にわたり禍根を残す。住民の生活を第一に考えるべき行政のやることではない。横井東町、鹿野園町、白毫寺町の住民は一致団結し、住民軽視の態度をとり続ける仲川市長に対して断固、新斎苑建設計画の白紙撤回を要求するために三町連絡会議を立ち上げ、今後新斎苑建設に関する一切のことはこの三町連絡会議を窓口とすることに至った。

市長は実際に住んでいる我々住民の気持ちを尊重し、ここまでさせたことに反省をするとともに、即刻横井東町山林への新斎苑建設計画の白紙撤回をすべきである。

上記請願いたします。